学校番号	3025

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の授業で学んだ書写を発展させ、芸術としての書の様々な表現方法を学びましょう。
・用具用材の違いによる表現、楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名といった書体を体験する中で基本的な筆の使い方から学び、自らの作品制作に活かしていくことを目指します。
・作品の鑑賞、身近に飾ることの出来る作品を制作する事で、表現する楽しさや充実した時間を味わい、書を愛好する心を育てます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
古典や古筆の臨書、実用書の練習により、様々な書の技術や表現方法を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】
臨書活動により習得した技術を、自らの作品の適所へ落とし込み、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】
自身または相互の作品の鑑賞・振り返りを積極的に行い、それらにより得た改善点を、常に作品に活かそうとする。また、合作では自身の役割を理解し、周りとの調和を大切にしながら取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式､書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基本的名技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受したうえで意図に基づいて構想し、表現の工夫を行う。また書の伝統や文化を理解し、その価値を考え、書の美を味わっている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写と書道(書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道の違いを理解する。 ・文字(漢字)の成り立ち 甲骨文字(象形文字)から文字の表現に興味を持つ。	a:姿勢や執筆法の基本を身につけ表現している。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえた表現を工夫している。 b:書写と書道の類似点・相違点、文字の成り立ちについて理解し、幅広い書の表現を味わっている。 c:書写と書道の類似点・相違点、様々な書体に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	古典観察シート	古典観察シート	振り返りシート
	漢字の書(篆書・隷書の学習から1文字作品制作〉	〈鑑賞〉 古典の学習を通して、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代を通して鑑賞する。 〈表現の構想〉 篆書・隷書の基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 〈作品の完成〉 篆書・隷書を使い、うちわへ漢字一文字作品制作する。その際、書体に応じた用筆・運筆、字形や全体の構成を工夫しながら表現する。	a:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する運筆を実につけ表している。 b:各書体の基本的な用筆を理解し、表現を工夫している。 b:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、その美しさを味わっている。 c:隷書・篆書の美しさとその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	古典観察シート 作品	古典観察シート 相互批評記録	振り返りシート 作品
	名印づくり	〈鑑賞〉 様々な印を鑑賞する 〈作品の完成〉 辞書を使い、自身の名前の頭文字の篆書を調べる。 印稿をつくり、印刀・印泥といった道具の使用方法を理解し表現する。	a:印刀の基本的な使用方法を身につけ、表している。 b: 様々な印影を鑑賞し、印の表現方法を味わっている。 b:篆刻における分間分白を理解し、表現を工夫している。 c: 名前の篆書体調べを通して書体の変遷に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	文字調べシート 作品	文字調べシート 相互批評記録	振り返りシート 作品

2学期	漢字の書(行書・楷書)	〈鑑賞〉 古典の学習を通して、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代や人物を通して鑑賞する。 〈表現の構想〉 楷書・行書の基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 〈作品の完成〉 楷書・行書を使い、半切1/2の作品制作をする。その際、書体に応じた用筆・運筆、字形や全体の構成を工夫しながら表現する。	a:古典の臨書を通して楷書の基本的な運筆方法を身につけ、表している。半切 1/2 への収め方、作品の全体感を意識し表現している。 a:楷書の特徴を理解し、筆の弾力を活かすよう工夫して表現している。 b:各古典の歴史的価値や作品の背景を知り、それらの美しさや表現方法を味わっている。 c:楷書の古典の書から風土や時代の違いに興味を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	古典観察シート 作品	古典観察シート 相互批評記録	振り返りシート 作品
	仮名の書	〈鑑賞〉 古典の学習を通して、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代を通して鑑賞する。 〈表現の構想〉 小筆の基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 〈作品の完成〉 仮名を使用した作品制作をする。その際、用筆・運筆、字形や全体の構成を工夫しながら表現する。	a:仮名の書の特徴を理解し、小筆の弾力を活かすよう工夫して表現している。 a:連綿や散らし書きの技法を身につけ表している。 b:古筆の臨書を通して仮名の書の基本的な運筆方法を身につけ、表している。連綿や変体仮名といった仮名の表現を理解し表現している。 b:各古筆の歴史的価値や作品の背景を知り、それらの美しさや日本人の感性に基づいた表現方法を味わっている。 c:仮名の発生から成立、日本の歴史的背景、美意識に興味を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	古典観察シート 作品	古典観察シート 相互批評記録	振り返りシート 作品

	生活の中の書	〈表現の構想〉 はがきの表書きの決まりや、小筆の用筆・運筆の技能を身に付ける。 〈作品の完成〉 様々な書体を使用した作品制作をする。その際、用筆・運筆、字形や全体の構成を工夫しながら表現する。	a:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて制作している。 b:暮らしの中に書の表現を活かすことを理解し、それら表現方法や美しさを味わっている。 c:身の回りにある書の表現（年賀状）に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	制作案シート 作品	制作案シート 相互批評記録	振り返りシート 作品
3学期	漢字かな交じりの書	〈鑑賞〉 漢字仮名交じりの書の学習を通して、点画や線これまでに習った各書体の線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 表現したい言葉に合わせた書体や書風があることを理解し味わう。 〈表現の構想〉 自身の表現したい作風を明確にし、それに適した用筆・運筆の技能を身に付ける。 〈作品の完成〉 漢字かな交じりを使用した作品制作をする。その際、用筆・運筆、字形や全体の構成を工夫しながら表現する。	a:様々な書体と作品のイメージを結びつけ自らの作品に表現している。 b:漢字と仮名との調和を意識し、表現を工夫している。 b:文字や文章の意味やそれらをイメージさせる様々な表現方法を味わっている。 c:用具用材や墨色の違いによる表現の方法に関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。	制作案シート 作品	制作案シート 相互批評記録	振り返りシート 作品
	作品鑑賞	・校内展示の作品鑑賞 ・相互批評会	a:鑑賞した作品についての感想文を読み手に伝わるように表現している。 b:互いの作品を鑑賞し、それぞれの作品の意図や表現方法を味わっている。 c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	鑑賞レポート	鑑賞レポート	鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度